

季刊ジャネット Ja-Net

スリーエーネットワーク

July 2022

No. 102



Contents

- 4 あちこち日本語ご紹介
東京都 世田谷区
- 5 みんなの“日本語 View from the Other Side”
ナビラ クルスム ウィボウォ (インドネシア共和国)
- 6 教材紹介
『JLPT文字・語彙N4 ポイント&プラクティス』
『JLPT文法N4 ポイント&プラクティス』
- 8 インフォメーション



巻頭寄稿

子どもの多言語・多文化教育と母語継承

子どもに母語・母文化を伝えていくこと、子どもが複数の言語・文化に触れて育つことは大切です。

わたしは日本語教育や多文化教育を専門とし、かつて大阪の大学にいたころ、地域で外国につながる子どもたちと放課後の居場所づくりのボランティアをしたり、「地域日本語活動」に取り組んでいるみなさんに関わらせてもらったりしていました。日本語学習を支援、伴走するからには学習者がいかにうまく日本語を身につけるかがみなさんの共通の関心だと思いますが、日本語

活動をしているかたがたの思いはそれぞれに違いもあるということを感じます。

自己実現の過程を歩む

日本の地域社会で生活している外国につながる人たちは、人として、わたしたちと同じ「自己実現の過程を歩む」存在だと感じています。

それは、私事で恐縮ですが、わたしの兄家族がアメリカに移住したということと関係があると思います。甥と姪は現在日本で生活していますが、成人後までアメリカや別の国に住んでいま

元法政大学教員

山田 泉

(やまだ いずみ)



1982年から84年まで、日本語教員として中国・大連に赴任。当時1歳の長男も含め、中国での「外国人」家族としての生活が、専門の日本語教育、多文化教育を考える上で財産となった。

た。この甥や姪の「おばあちゃん」、わたしの母親は、93歳で亡くなるまでの3年間我が家で介護をしたのですが、甥や姪から日本語で国際電話や手紙をもらっていました。兄家族の家庭言語が日本語で、ESL*の先生も家庭で日本語を話すことには寛容だったようです。二人ともバイリンガルとして育ちました。小・中学校の長期休暇は、日本の両親の実家で従姉妹たちと過ごすのが年中行事でした。わたしも里帰りのときに、母親が二人を迎える準備をしながら、あれを食べさせよう、あれをしてやろうと張り切っている姿を見てきました。その「おばあちゃん」が寝たきりになっても、枕元に姪がくれた「おばあちゃん、いつまでも元気でね」というカードがありました。甥と姪が日本語も含めマルチリンガルでいてくれたことは、二人および母の人生にとって意義深いことだったと思います。

もう一つは、2009年に韓国での移民受け入れ調査の一環で、ソウルのトンデモン（東大門）区の当時「青い市民連帯」とっていたボランティア団体を訪ねたときのことです。

主に結婚移住女性に向けた韓国語教育の教室見学をして、主宰のかたにお話を伺いました。ひととおりの説明の最後に、自分たちの活動の本当の目的は、韓国語を習得してもらうことでは

なく、学習者の「お母さん」たちに自分を尊敬してもらうこととすと言ひ、ぜひ近隣の「多文化図書館」も見ていってほしいということでした。

多文化図書館の中に入ると、主に8言語の絵本や児童書の書架があり、子どもが床に座って絵本をめくっていました。カウンターでは母親と思われ二人がお茶を飲みながら母語で話していました。また、オープンスペースには、いくつかの言語でお母さんたち手作りの絵本を展示しているコーナーがありました。日本語のものは飛び出す絵本になっていてびっくりしました。入り口近くには8枚の二つ折りの色紙があって、そのうち日本語ののを見ると、左半分に「宣言」とあり、「母語・母文化を子どもに伝えるのは親の義務です。わたしは母語・母文化を子どもに伝えます。」というような文言が書かれていました。そして右半分には、宣言に賛同した親たちの署名がありました。なるほどと思って中に戻ると、床に座っている子どもに寄り添って母親と思しき人が、母語で絵本を読んであげていました。その顔は、教室で韓国語を学んでいるときと違って、「お母さん」の顔でした。主宰のかたの言った「学習者のお母さんたちに自分を尊敬してもらう」ということが分かったような気がしました。

心理学者のマズローは、人間の最上位の欲求を「自己実現の欲求」としました。これは、真に自分自身に満足し、自身を尊敬したいという欲求です。しかし、生きているうちにこの欲求を叶えた者は、リンカーンくらいだろとうしています(A.H.マズロー『人間性の心理学』小口忠彦訳 産業能率大学出版部1987)。わたしは、多くの人たちは、自己実現の欲求を果たすべく一生歩み続ける存在なのだと考えます。そのために、さまざまな人たちと関わり、それによって自らが今ある位置を判断し、これから歩むべき方向を定めているのだと思います。肉親との間で、この歩みは、父母から受け継ぎ子孫に受け継ぐものなのではないでしょうか。

世代を超えて人生を継承する

大阪で外国につながる子どもたちと放課後の居場所づくりをしているときも感じていましたが、ことばはコミュニケーションの道具として意思を疎通させるというだけでなく、人と人が人生をつなぐためのものだと思います。継承語(Heritage Language)という言い方がありますが、世代を超えて人生を継承することばという意味もあるはずで、もちろん今つながっている人たち同士も同様です。

このことは、幼いときから多言語・多文化と身近に接し、自らと他者を、共に学び、共に育つ存在として尊敬し合う関係をつくることの大切さとも通じるものがあると思います。子どもたちにそれができる環境を提供することが重要です。多言語の絵本の作成とそれを用いた活動は、その取り組みのひとつでしょう。

*) 英語以外を母語とする人たちのための英語教育

ことばは人と人が 人生をつなぐためのもの

多言語絵本制作の活動から

多言語絵本の会 RAINBOW 代表

石原弘子

(いしはら ひろこ)

1995年に山田泉先生に出会い、ボランティアは「相互学習」ということを知る。以来、私は何を学ぶのか、その答えをもとめて活動中。



1995年1月阪神・淡路大震災の直後に、大阪ではじめての日本語ボランティア講座が開かれました。これへの参加を機会に日本語ボランティア活動を始め、20数年が経ちます。この間で忘れられないのは、2003年に聞いた国際結婚された外国人のお母さんの「日本では私の言葉は必要ない」という言葉です。自分の子どもに母親の言葉を伝える必要がないと思ってしまう社会で良いのだろうかと思いを受けてきました。

多言語電子絵本の取り組み

2009年、目黒区は子どもの権利条例が子どもにも理解できるようにと、区内に住んでいる絵本作家きむらゆういち氏に依頼して『すごいよ ねずみくん』という絵本を刊行しました。非売品であり、日本語のみであることから、すぐさま、許可をもらって、日本語活動



目黒区が子ども条例の啓発を目的に2009年3月に制作・発行(きむらゆういち 作・鈴木アツコ 絵『すごいよ ねずみくん』)。多言語絵本の会 RAINBOWのサイトから13言語で読めて聞ける

に参加している外国人に数言語、翻訳・音訳をしてもらいました。

その後、2013年に障害者の読書支援システムであるマルチメディアデジー(以下、MD)を知りました。文字と音が同期して進み、文字の大きさも読む速さも読者に合わせて変えることができます。外国語に対しては、みんな障害を持っているといえるので、外国語資料を読むのに適した電子書籍です。以来、このMDで多言語電子絵本制作に取り組んできました。一時YouTubeにアップできる動画にしたこともありますが、多言語電子絵本は見るものでなく、読みを支援するMDの形式がふさわしいと思っています。

2019年には、ある程度作品が増えてきたので、より多くの人に多言語電子絵本を届け、より多くの人で作品を良くし、増やしていきたいと思い、全国の公共図書館872館にデータを寄贈しました。幸い、この年、Web上で再生するチャッティブックス(Chatty Books)というソフトが開発され、MDは障害者だけでなく、より広く多くの人々が利用しやすい電子書籍になりました。さらに2020年、2021年の2回に分けてデータをDVDに収録して寄贈しました。しかし、今年1月、子どもが簡単に外国語に触れられるように紙の本がほしいという声が寄せられました。図書館でも寄贈のDVDを障害者サービス資料と扱うところが多く、だれでも使える電子書籍にもかわらず、外国人の利用につながりにくいことがわかりました。

そこで、『バイリンガルにほんむかしばなし』9言語(9冊)の編集をはじめたところ、ロシアのウクライナ侵攻が



『ロシア民話 金の魚のはなし』(日・露・英・中・葡の5言語)。絵はウクライナのオレクサンドル・ペレフレストさん

激しくなり、以前制作したロシア民話のプーシキン作『金の魚のはなし』のイラストが、当時13歳のウクライナの少年によるものだったので、これも合わせて10冊発行することにしました。現在も彼はキーウ近郊に住んでいて、無事だという知らせと、平和への願いを込めた3枚のイラストが送られてきました。この絵も見させていただきたく、巻末に掲載して、『ロシア民話 金の魚のはなし』5言語合本が誕生しました。

なぜ、多言語絵本が必要か

私は日本語と外国語の両方で読める作品を増やすことで、外国にルーツを持つ人の言語環境をよくなり、日本語で育つ子どもたちの外国語への関心を広げていくと考えています。

外国にルーツを持つ人々の日本語能力にかかわらず、日本社会が彼らを受け入れ、さまざまな活動の場を提供していくことが、私たち日本人の学びにもつながっていくと思ひ、多言語絵本の活動に取り組んでいます。

多言語絵本の会 RAINBOW
<https://www.rainbow-ehon.com>

あちこち日本語ご紹介

東京都 世田谷区

多言語絵本が結ぶ 図書館と地域

ブッククラブえほんだ！主宰
学校司書

長嶺今日子

世界のことばで読み聞かせ

「ことばがちがっても、同じ絵本を一緒に読めば、すぐに友だちになれるはず」をテーマに、2007年より世田谷区内の図書館、保育園、子育て支援のイベントなどで、多言語絵本の読み聞かせをしています。中でも、2016年にスタートした、世田谷区立中央図書館主催の「世界のことばで読み聞かせ」は、世田谷区立図書館ビジョン行動計画に掲げられた「多文化・多言語への理解の推進」のもと、地域に暮らす外国人、日本人の協力を得ながらゆるやかに継続中です。隔月第2日曜日の午後、外国につながる家族、地域の留学生、赤ちゃんから大人まで、にぎやかに集います。

読み手は、図書館に置いているチラ

シでも募集していますが、最近では、聞き手として参加した方が「こんどは自分のことばで読んでみたい」と手を挙げてくれる例も増えてきました。また、日本人の帰国子女が、海外で習得したことばではりきって読んでくれることもあります。読み手になることがことばへの自信を深め、より積極的に取り組むようになってゆく姿が印象的です。私自身を含め、皆さん仕事と子育てをしながらの活動のため、急な不参加も想定し、外国語の読み手は2名以上を準備しています。ただし、図書館では読む予定の言語を事前にお知らせしてはけません。読み手にとってプレッシャーにならないよう、家で読むのと同じような気持ちで、無理なく参加してもらいたいからです。

絵本が伝える各国の文化

読む絵本は、図書館の多言語絵本の蔵書(約1,800冊)から、読み手と

相談しながら選びます。一冊の絵本をみんなで楽しめるように、外国語と日本語で、ページごとに読んだり、翻訳版がない時には、簡単にお話の概要を伝えたりします。地域の子どもたちに自国の文化や物語を紹介したいと、私物の絵本を持参してくれる場合もあります。たとえばタイ語でかえるの絵本を読んだ時には、日本の小学生が朝顔を育てるように、タイではおたまじゃくしを育てることが多いことなど、現地の子どもたちの暮らしぶりを伝えたり、日本で古くから伝わるおまじないの絵本『つかめ つかめ』(あすなろ書房)を読んだあとで、各国のおまじないを紹介したりと、毎回、読み手の皆さんのお国柄があふれる楽しい時間を過ごしています。

ここ数年は、地域の学校司書や先生方も関心を寄せてくださり、小学校PTAのイベントや中学校の図書委員会などで多言語読み聞かせが開催されるようになりました。また、日本国内で積極的に多言語の絵本を取り扱う書店も増えてきています。「ともに暮らす多様な国や地域の人々がそれぞれのことばを大切にしてほしい」という思いが、図書館の活動を通して少しずつ広がり、地域全体の多文化共生のきっかけになればと願っています。



3カ国語(中国語、日本語、英語)の読み聞かせ*1。世田谷区立中央図書館



様々な多言語絵本。「英語で楽しむ福音館の絵本」シリーズほか*2

*1) 五味太郎「わにさんどきっ はいしゃさんどきっ」(偕成社 P8-9)

五味太郎作品の海外出版リスト:

<http://www.gomitaro.com/library/overseas/>

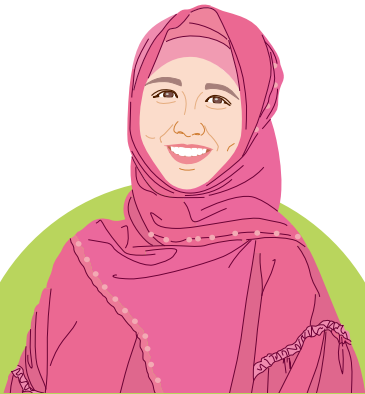
*2) かんざわとしこ 文・やぎゆうげんいちろう 絵「たまごのあかちゃん」、林明子「おつきさまこんばんは」、きとももこ「うずらちゃんのかくれんぼ」(すべて福音館書店)

多言語絵本の情報:ブッククラブ えほんだ!のブログ参照

<https://ehondana77.exblog.jp>

みんなの“日本語View from the Other Side”

このコラムでは、学習者や日本語に携わる方の視点から話題をお届けします



ナビラ クルスム ウィボウオ

1998年1月 インドネシア、ボゴール市生まれ
2008年10月 来日、移住

2021年3月 山形県立米沢栄養大学健康栄養学部健康栄養学科を卒業し、4月に宮城大学大学院食産業学研究科博士前期課程に入学、現在在学中。栄養士免許、栄養教諭一種免許状取得

2021年8月 日本語能力試験N1満点合格

2022年3月 第36回管理栄養士国家試験合格

illustration 内山洋見

日本での経験を自身の強みに

わったり、父や母にひらがなやカタカナを教わったり、日本人や他の外国籍の子どもたちと一緒に国際キャンプにも行き、日本語でコミュニケーションをとる練習をしたりしていました。

「朝のスピーチ」をきっかけに

その一年後、ひらがなやカタカナの知識のみで、日常会話もできていないレベルのまま公立小学校に転校しました。最初は授業が理解できませんでした。今でも印象に残っているのは、「漢字テストで100点満点中5点」と「朝のスピーチ」です。転入した5年2組では、「朝のスピーチ」があり、一日一人、各メンバーに順番が回ってきました。当時の私は頭が真っ白になってしまい、何も話すことができませんでした。でも、それが「日本語の勉強を頑張ろう」と背中を押してくれた出来事だったと思います。

日本語の理解をさらに深めようと、放課後は別の公立小学校の日本語学級に通っていました。すべて日本語で話す練習はもちろん、日本語で日記を書くという課題も出されました。両小学校の先生方はすごく優しく、サポートも手厚く、小学校を卒業する

時には日本語を支障なく話せるレベルまで達することができました。

その後、公立中学、都立高校、県立大学・大学院へと進んでいき、テレビや本を使って日本語の勉強を進めながら、学校の勉強も進めていました。「外国人特別入試を受けたでしょう?」と思う方もいるかもしれませんが、一度も受けていません。日本の学校に在学して3年以上経つと外国人特別入試も受けられない上、日本語で書かれた入試問題の方が読みやすかったので、一般入試の受験を決めました。日本語で受けてきた試験の中で自分にとって最も難しかったのはセンター試験と管理栄養士国家試験でした。知識ももちろんのこと文章を正確に読み取る力が試されていました。

今、そしてこれから

4月に晴れて修士2年生になりました。修士課程修了後は食品会社に勤めたいと思っており、食品に関する知識や語学が活かせる仕事がしたいなと思っています。

今のように流暢に日本語を話せるまでは、外国籍でみんなと違うからと、いじめられたこともあり、辛くて泣いた日々も数え切れません。でも、その試練を乗り越え、日本語をあらゆる場面で使いこなせたり、コミュニケーションの輪も広がりステキで温かい方々とも巡り会うことができたりと、辛かった分だけ楽しいことも嬉しさもたくさんありました。両親、先生方、関わってきた全ての方々の支えや応援があったからこそ、ここまで来れました。心から感謝しています。

ランドセルに憧れて

2008年10月8日水曜日、それが私の日本移住記念日です。父の転勤を機に日本に住み始め、あっという間に13年経ちました。

両親が日本に留学したこともあり、小さい頃から日本のアニメや曲に触れていました。「ランドセルを背負って学校に通う」という憧れもあり、日本に来られること自体嬉しいことでした。

初めは、東京インドネシア共和国学校という、インドネシアの子どもたちだけが通う学校に通っていました。そこで日本人の先生に日本語を教

『JLPT 文字・語彙 N4 ポイント&プラクティス』

本田ゆかり・前坊香菜子・菅原裕子・関裕子 著

B5判 76頁 別冊30頁 1,320円(税込) 5月発行済



厳選されたことばを効率よく学ぶ！

東京外国語大学大学院国際学研究院

特別研究員 本田ゆかり

本書は、日本語能力試験対策問題集「ポイント&プラクティス」シリーズの「文字・語彙 N4」です。問題、リスト、解答・解説の三部分を全 20 回で構成しています(英語・中国語・ベトナム語の翻訳つき)。あるテーマの語彙や漢字を網羅的に示すのではなく、試験に出題されやすい項目だけに数を絞って提示している点が本書の最大の特長です。一度にたくさん覚えられないので試験に必要なものだけを学習したい、直前対策に重要な語彙や漢字に絞ってもう一度おさらいしておきたいという学習者の方や、短期間で JLPT 対策授業を行う先生方に、ぜひお手に取っていただきたい一冊です。

特長

★最短距離で合格を目指す！

特に試験で重要な語彙や漢字だけを学習できるように日本語能力試験公式問題集や日本語教科書等のデータベースを分析して掲載項目を厳選していますので、最短距離で合格を目指すことができます。

★試験形式問題を先に解いてから、リストで語彙や漢字の意味や用法をチェック！

本書は、問題ページの後に語彙と漢字のリストを配置しています。おすすめの使い方は、本書の順番通りに試験形式の問題を先に解き、その後で語彙や漢字をリストで確認する方法です。このように進めると、学習者は実際の試験のような緊張感のなかで習ったことばを思い出そうとし、知らないことばに注意を向けますので、知識の整理、知らない語彙や漢字への気づき、理解、記憶がスムーズに進むという効果が期待できます。

★語彙と漢字を一緒に学ぶ！

漢字は語彙のリストで扱うものの中から取り上げています。こうすることで語彙と漢字を同時に効率よく学習することができ、漢字が苦手な学習者の負担が大きく軽減されます。

★会話教材のように楽しみながら語彙や漢字を学ぶ！

語彙と漢字のリストは JF スタンドの Can-do を参考にした話題ごとにまとめられていますので、教室利用ではそれぞれの意味や用法を確認しながら会話を展開すれば、単調になりがちな語彙や漢字の授業を楽しく進められます。さらに、会話の中で学習者のニーズに応じて語彙や漢字を追加していけば、JLPT 対策の枠を超えた、一般の語彙・漢字学習教材としてもご活用いただけます。ぜひ、いろいろな使い方を試してみてください。

目次

- 1 回目 私、家族、私の国を紹介しましょう
- 2 回目 休みの日について話しましょう・人の印象について話しましょう
- 3 回目 最近のことについて話しましょう
- 4 回目 プレゼントをあげましょう
- 5 回目 学校について話しましょう
- 6 回目 子供の頃の思い出について話しましょう
- 7 回目 買い物を楽しみましょう
- 8 回目 食事をしましょう(1)
- 9 回目 食事をしましょう(2)
- 10 回目 住む所について話しましょう
- 11 回目 どんな場所ですか・どうやって行きますか
- 12 回目 旅行について話しましょう
- 13 回目 トラブルについて話しましょう
- 14 回目 誘いましょう・待ち合わせをしましょう
- 15 回目 スポーツを見ましょう
- 16 回目 天気・自然・環境問題について話しましょう
- 17 回目 日本語を勉強しましょう
- 18 回目 日本語を勉強して、どんなことをしますか
- 19 回目 仕事でお客さんを案内しましょう
- 20 回目 健康について話しましょう



『JLPT 文法 N4 ポイント & プラクティス』

青木優子 田中啓行 著

B5判 81頁 別冊60頁(予定) 1,320円(税込) 9月発行予定



試験対策にも初級文法学習にも役立つコンパクトな一冊

青木優子・田中啓行

本書は、N4の文法のポイントを効率よく学びたい学習者のための問題集です。日本語能力試験と同じ形式の問題を解くことを通して、問題の解き方を身につけると同時に、解答の根拠となるN4の文法知識を確認できるような内容になっています。N4合格を目指して勉強し、初級の文法知識を確かなものにするには、日本語でコミュニケーションを取る能力の基礎を作ることにつながります。しかし、すべての学習者が十分な勉強時間を取れるわけではありません。本書は、勉強のための時間があまり取れない学習者や独学でN4合格を目指している学習者、文法の説明を読むのが苦手というような学習者にも使いやすいものにするを考えて作りました。また、文法項目の提出順がおおむね『みんなの日本語』の学習順に沿ったものになっていますので、初級のクラスの副読本、ドリルとして使っていただくこともできます。

N4合格を目指す方や、初級の文法を身につけたい方に、クラスの授業はもちろん、独習用としても使っていただきたいと思っています。

本書の構成と使い方

本冊には、20回分の「問題パート」、3回分の「まとめ」、1回分の「模擬試験」、20回分の「リストパート」があり、

別冊には、「解答・解説」を載せています。各回の文法項目は、やさしいものから難しいものへという順に並べられていますが、どの回から始めても構いません。

問題パート

問題パートの各回の最初にある「かくにん」の問題は、その回で学ぶ文法項目の基本を復習するためのものです。また、「もんだい1」の文法形式の判断、「もんだい2」の文の組み立ての問題は、それぞれ日本語能力試験の「文の文法1」、「文の文法2」と同じ形式になっています。問題形式に慣れながら、文法項目をマスターすることが目的です。

初級の文法が未習の場合や、文法の学習と並行して本書をお使いになる場合には、リストパートの文法解説を先に学習してから、問題パートを解くといでしょう。既に初級の文法項目の学習を終えている場合には、先に問題パートの「もんだい1」、「もんだい2」を解き、間違えた問題の復習や確認として、リストパートや「かくにん」の問題を使っていただけます。

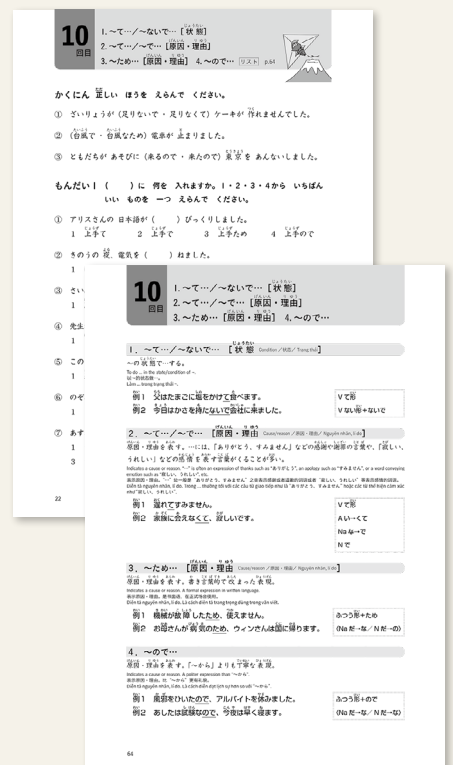
また、7回、14回、20回の後に「まとめ」、最後に「模擬試験」があり、これまでの学習が身についているか確認することができます。

リストパート

問題パートの各回の文法項目に関して、意味の説明、接続形式、例文が書いてあります。接続形式はN4レベルで知っておくべき品詞と活用形を載せています。意味の説明には英語・中国語・ベトナム語の翻訳をつけました。

解答・解説

問題パートの解答・解説、模擬試験の解答を載せています。問題を解くために必要な文法や意味を説明してあります。解説には、英語・中国語・ベトナム語の翻訳をつけました。





すべて税込み価格です



JLPT文法N3 ポイント&プラクティス
JLPT文法N4 ポイント&プラクティス
タスクベースで学ぶ日本語 中級2

Task-Based Learning Japanese for Colleague Students

1,320円

1,320円

2,200円

7月発行予定

9月発行予定

10月発行予定

お知らせ

『世界の日本語学習者のための日本語教材 日本という国』をプレゼント

Ja-Net99号巻頭に寄稿いただいた大森和夫さん・大森弘子さん共著『世界の日本語学習者のための日本語教材 日本という国』が朝日新聞出版から発行されました。Ja-Net読者にプレゼントします。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

30年以上にわたり世界の日本語学習者に自作の教材を寄贈し、「日本語作文コンクール」を主催してきた大森ご夫妻が編集・執筆された「この一冊で日本が分かる」日本語学習者のための副読本。「今の日本」から歴史、自然、文化、文学、和食まで。多くの漢字に「ふりがな」が付いています。



【応募方法】

●ウェブサイト

<https://bit.ly/JaNet102>



●FAX・はがき

下記のアンケートにご回答の上、お名前、ご住所、お電話番号とあわせて、Ja-Net編集室（本頁下の連絡先）までお送りください。

Q1.日本語を教えている場所はどこですか。

- ①日本語学校 ②専門学校 ③大学
④地域日本語教室 ⑤小中学校・高校
⑥企業・団体 ⑦技能実習生受け入れ協同組合 ⑧その他 ⑨教えていない

Q2. これまでのJa-Netについて、印象に残った記事などがあればお聞かせください。

【締め切り】2022年8月31日(水)

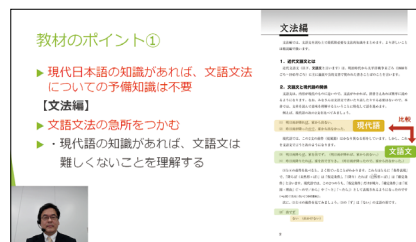
23:59(はがきは当日消印有効)

【当選発表ならびに個人情報の取り扱いについて】

プレゼントの当選発表は商品の発送をもってかえさせていただきます(9月発送予定)。また当選案内の連絡がつかない場合、当選は無効となります。応募していただいた方の個人情報はプレゼント発送以外の目的には使用いたしません。

【教材紹介動画】公開

『留学生のための近代文語文入門—現代の日本と日本語を知るために—』の著者、庵功雄先生に教材の構成や特長をご紹介します。



単語アプリと確認テストのご案内

先日発行された『新完全マスター単語 日本語能力試験N4 重要1000語』は日本語能力試験N4合格に必要な語彙1000語を厳選し、豊富な例文とともに収録された単語帳です。

無料アプリでは、見出し語と読み物の音声を聞いたり、チェックボックス機能を使って、覚えていない単語だけを繰り返し確認したりできます。アプリ内課金で翻訳を表示させることができます。

また、本書をご採用の教育機関の方々を対象に、27回分の確認テストをお送りしています。

詳細・確認テストのお申込み



日本語能力試験対策「JLPTポイント&プラクティス」対応ウェブアプリ(法人・採用校向け)

教材の内容を繰り返し学べるウェブアプリを、該当書籍ご採用の日本語学校や大学の法人向けに、クラス単位で販売します。各330円。

・JLPT文字・語彙N3ポイント&プラクティス、同N4 発売中

・JLPT文法N3ポイント&プラクティス 8月発売予定、同N4 10月発売予定

詳細・使い方動画



季刊ジャネット

Ja-Net No.102

スリーエーネットワークという社名は、アジア(Asia)、アフリカ(Africa)、ラテン・アメリカ(Latin America)の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2022年7月25日発行

●発行人 藤寄政子
●発行所 (株)スリーエーネットワーク
Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4
トラステイ麹町ビル2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: sales@3anet.co.jp

<https://www.3anet.co.jp/>

●デザイン パーシック 畑中 猛

●イラスト 須山奈津希(P.1, 8)

●印刷 (株)ワコー

©2022 by 3A Corporation

Printed in Japan (禁断転載)

「Ja-Net」をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。次号は2022年10月25日発行予定です。